

そうな、にぎわいでした。現在は、子安地蔵としておまつりしております。

若松から江戸へ行く日光街道は、若松から上飯寺を通り、上米塚渡し場から、今の消防屯所の前に出て、本郷町から枳沢を通り、大内へと行く道順でした。

会津の殿さまが、参勤交代で、江戸へ行くときも、この街道を通りました。

この街道は、玉光堂の南側を通っております。現在と殆んど同じですが、道はせまく、お堂との間は、少し離れておりました。

玉光堂の門をくぐったすぐ右側に、大きくて太い松の老木がありました。その松の何本もの枝も太くて、曲りくねつてのびており、街道に陰をつくっております。

玉光堂の近くには、モクモクと小砂を吹き上げて、川底まではつきりと、すきとおって見えるきれいな、冷たい清水がありました。そこは、玉石で垣が造られ、その石には、あ
おあおとしたコケが一面に生え、トゲキヨも泳いでおりました。

旅人は、ここで水を飲み、かわいたのどをうるおし、松の下で一休みして行きました。